

小児喘息と成人期アトピーを経て治療した成人アトピーの経過 (26 歳男性)

症例 ID：001-20-HI | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

2～3 歳頃に小児喘息が始まり、転居を経ながら小学校高学年頃まで喘息症状がありました。膝裏のかゆみやアレルギー性鼻炎もありましたが、中学・高校期には大きなアレルギー症状で悩んだ記憶は少なかったとされています。

高校卒業後、予備校に通う頃から肌のかゆみが出て、皮膚科でアトピー性皮膚炎と診断されました。約 3 年間通院し、そのうち 2 年半はステロイド軟膏と抗ヒスタミン剤を使用しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	皮膚科で約 2 年半、ステロイド軟膏と抗ヒスタミン剤を使用しました。小児喘息の時期には吸入器と内服薬を使用していました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	約 2 年半。
中止時期	皮膚科医からステロイドを続けても治らないと説明され、その後ステロイドを使わない期間がありました。松本医院受診後は漢方治療を開始しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2～3 歳頃～小学校高学年	来院前	小児喘息があり、吸入器と内服薬で対応していました。膝裏のかゆみやアレルギー性鼻炎もありました。
高校卒業後	来院前	予備校に通い始めた頃から肌がかゆくなり、アトピー性皮膚炎と診断されました。
皮膚科通院期	来院前	約 2 年半、ステロイド軟膏と抗ヒスタミン剤を使用し、その後ワセリンと抗ヒスタミン剤で治療を試みました。
脱ステロイド後	来院前	2～3 か月にわたり強いリバウンドを経験しましたが、完治には至らず、寝不足などで症状が悪化する状態が続きました。
平成 10 年 1 月頃	治療開始	松本医院を受診されました。冬で症状が悪い時期でしたが、リンパ液や眠れないほどのかゆみは強くありませんでした。
平成 10 年夏前頃	リバウンド期	皮膚がぼろぼろ剥がれ、強いかゆみ、睡眠困難、リンパ液が出る時期がありました。漢方風呂が最も楽に過ごせる時間で

		した。
平成 10 年 7 月下旬以降	回復傾向	スキューバダイビングができる程度まで状態が戻りました。
平成 11 年頃	経過後	良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、症状の出方は穏やかになりました。

4. ピーク時期

ピークは、松本医院受診後に皮膚がぼろぼろ剥がれ、強いかゆみ、睡眠困難、リンパ液が出る状態が続いた夏前頃です。

5. 困りごと

- ・強いかゆみで朝方まで眠れないことがありました。
- ・リンパ液が多く出て、漢方風呂に入っている時間が最も楽に感じる時期がありました。
- ・医療機関での治療に不信感があり、自分で治そうとさまざまな方法を試していました。

6. 経過のまとめ

小児喘息、成人期のアトピー、ステロイド使用後のリバウンドを経て松本医院を受診しました。治療開始後には再び強いリバウンドを経験しましたが、夏頃にはスキューバダイビングができる状態に戻りました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。